

# JAMP information

## 監査委員特別セミナー (4月20日～21日)

4月20日・21日に、「監査委員特別セミナー」を開催しました。令和4年度最初の開催となった本セミナーには、全国各地から計113人の監査委員の皆様にご参加いただきました。



三橋 一彦氏

初日は、「監査制度について」と題して、総務省自治行政局行政課長の三橋一彦氏から、監査制度の概要、地方自治法の改正や監査基準及び実施要領を踏まえた望ましい監査の在り方等についてご講演いただきました。参加者からは、「新人監査委員として、制度の基本を教えてくださいました」、「答申内容の説明についてよく理解できた。リスク評価について触れていただいたことも良かった」、「限られた時間で目一杯の情報をご説明いただいた。資料は今後、事務局ともども読み込んでいきたい」などの感想をいただきました。

続いて、「監査委員に求められる機能と今後の課題」と題して、日本大学商学部教授の紺野卓氏から、内部統制に依拠した監査の在り方、今後の監査実務の在り方等についてご講演いただきました。参加者からは、「民間の動向、国の動向、判例などから今後の課題を示していただき、大変分かりやすく有意義であった」、「講義内容、説明の仕方、聞きやすい話し方、また受けたいような素晴らしい講義だった」、「内部統制の大切さ、DX導入に係る監査委員の重大な責務などを学び、身の引き締まる思いだった」などの感想をいただきました。



紺野 卓氏

2日目は、まず、「住民監査請求の制度と課題」と題して、弁護士であり、関西大学法科大学院教授の元氏成保氏から、住民の監査機能の一つである住民監査請求に係る実務上の留意点等についてご講演いただきました。参加者からは、「住民監査請求は知っておかなければならない大切な制度であり、的を射た内容でよく理解できた」、「講師の裁判所の判断に関するコメントが有意義に感じ、今後の参考にさせていただきたい」、「制度内容はよく理解できましたが、判例等のお話をもっと多く聞きたかった」などの感想をいただきました。



元氏 成保氏

最後に、「公営企業会計に係る監査」と題して、公認会計士の渡邊浩志氏から、公営企業の概要や最近の動向等を踏まえ、留意すべき公営企業会計の監査のポイントについてご講演いただきました。参加者からは、「分かりやすい説明でメリハリがあり、素人の私にもよく分かる内容だった」、「監査委員となって初めての決算を迎える中で、タイムリーな研修となり大変有難かった。施行規則の改定等も勉強になった」、「企業会計と公営企業会計との相違がよく理解できた」などの感想をいただきました。



渡邊 浩志氏